

第2回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議 会議録

日 時 令和8年6月2日(火)13時半～15時

場 所 南相馬市役所 東庁舎2階第1会議室

議 事

(1)報告事項

第1回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議について

(2)協議事項

- ①人権啓発用リーフレット(案)について 【資料1】
- ②人権に関する講演会の内容・タイトルについて 【資料2】【資料3】【資料4】
- ③人権に関する標語及びミニのぼり旗デザイン画審査 【資料5】
- ④その他

【 会 議 録 】

1. 開 会

○会議出席者

ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議

出席委員(7人)

前川 直哉	乗松 宏紀	畑山 慶子	飯塚 宏
菅原 道義	吉田 一貴	山田 一栄	

欠席委員(2人)

青木 圭太 鈴木 一憲

2. 会長挨拶

飯塚会長よりあいさつがあった。

3. 会議録署名人の指名

飯塚会長が会議録署名人に、畑山委員と菅原委員を指名した。

4. 書記の指名

飯塚会長が書記に市民課大樂主査を指名した。

5. 議事

(1)報告事項

第1回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議について

○飯塚会長

それでは、次第の5、議事にはいります。(1)報告事項 第1回ともによりそい・はぐくむ南相馬市人権推進会議について、事務局より説明をお願いします。

≪ 事務局より説明、第1回会議の会議録配布 ≫

○飯塚会長

ただいまの説明に対して、ご質問等ございますか。

ないようでしたら、次に協議事項①人権啓発用リーフレット(案)について、②人権に関する講演会の内容・タイトルについて、事務局の説明をお願いします。

(2)協議事項

①人権啓発用リーフレット(案)について

【資料1】

②人権に関する講演会の内容・タイトルについて

【資料2】【資料3】【資料4】

≪ 事務局より、資料1～4について説明 ≫

○飯塚会長

ただいま、事務局から説明がありました。

まず、人権啓発用のリーフレット案について、何かご意見はありますか。

○山田委員

確認ですが、これは人権擁護委員さんが使用するものという認識でよろしいでしょうか。

○事務局(馬場補佐)

人権擁護委員さんの啓発活動で活用していただくことを想定しています。あわせて、市民課や生涯学習センターなどにも設置し、市民の方にも手に取っていただけるようにしたいと考えております。

○山田委員

一般市民が利用できる場所にも置くということですね。これは、年間に何回か継続して使うものなのでしょうか。

○事務局(馬場補佐)

今回は、人権啓発活動の一環として作成するもので、現時点では1回の啓発活動での使用を想定しています。なお、リーフレットは事務局で作成しているものですので、内容やデザインの修正は可能です。

○山田委員

「人権に関する Q&A」という形式は、分かりやすく良いと思います。こういうことをしている、ということが市民に伝わるのではないのでしょうか。

○飯塚会長

ほかにご意見はありますか。大きさは、この A4 サイズということでよろしいんですね。また、カラーではなく白黒で印刷ということでしょうか。

○事務局(馬場補佐)

現時点では、このサイズで作成し、白黒で印刷することを想定しています。

また、使用しているイラストについてですが、著作権の問題もありますので、今回の人権推進計画で使用しているイラストを使わせていただいています。

○飯塚会長

著作権の問題は非常に厳しいですからね。それでは、リーフレットについて、事務局から説明がありましたように、修正が必要であれば対応可能とのこと。皆さんから、内容やデザインについてご意見があればお願いします。

○前川委員

内容については良いと思います。細かい点になりますが、「人権に関する Q&A」の部分につ

いて、少し文字が小さい印象があります。会長からもお話がありましたが、私自身も細かい文字が読みづらくなってきたところがあります。

ただ、これはまさに人権の視点、あるいは情報保障の視点にも関わることだと思います。視力が弱い方や小さい文字が読みづらい方など様々な方がいることを考えると、試しに基本は A4 サイズとしつつ可能であれば A3 サイズの大きいバージョンも何部か作ってみてもよいのではないのでしょうか。

人権擁護委員の方などにも見ていただき、どちらの方が手に取られやすいか、あるいはどちらの方が見やすいかを確認してみてもよいと思います。あくまでアイデアですので、実際に行うかどうかはお任せします。

○菅原委員

A3 にしない場合でも、文字のポイント数を少し上げて、周囲の余白を少し削るという方法もあるのではないのでしょうか。そうすれば、今のサイズのままでも多少見やすくてできると思います。

○事務局(馬場補佐)

ありがとうございます。次回の会議までに、どのような形が一番見やすいかいくつか試作してみたいと思います。例えば、A3 サイズのもの、文字のポイント数を上げたもの、フォントを変えたものなど複数のパターンを作成し、次回改めて皆さんにご確認いただく形でよろしいでしょうか。8 月であれば、人権啓発活動の時期にもまだ間に合いますので、それまでにいくつかのバージョンを用意したいと思います。

○前川委員

関連してですが、最近はユニバーサルデザインに配慮したゴシック体、いわゆる UD フォントを使う事例も増えています。実際に、そうしたフォントの方が読みやすいと感じる方も多いいいます。

また、文字のポイント数だけでなく、行間も大切です。行間が詰まっていると、どうしても読みづらくなります。もう一つ、裏面などで、濃いグレーの背景の上に文字が載っている部分がありますが、人によっては読みにくい場合があります。これは視認性、つまり文字や情報の見やすさに関わる部分です。大きさだけでなく、フォント、行間、背景色と文字色の組み合わせなども含めて、読みやすさを考えていただけるとよいと思います。

特に色については、色覚に特性のある方もいます。色の組み合わせによっては、内容が読み取りにくくなる方も一定数いらっしゃいます。今回のリーフレットは人権に関するものですので、情報保障や見やすさに配慮したものにしていただけると他の資料づくりの模範にもなるのでは

ないかと思います。

○飯塚会長

ありがとうございます。リーフレットの内容については、よろしいでしょうか。

それでは、内容についてはおおむね了承ということで、デザインや文字の見やすさについては、次回までに事務局で調整していただくということでお願いします。報告事項①については、現時点では以上としたいと思います。

○飯塚会長

次に、協議事項の人権に関する講演会の内容・タイトルについてです。何か皆さんからご意見はないでしょうか。なお、事務局の方で、いくつかタイトル案を考えてもらっています。

○前川委員

なるほど、「虎」や「翼」という言葉が入っている案もありますね。ただ、必ずしもこの言葉を入れなければならない、ということではないと思います。タイトルについては、こちらでアイデアを考えて、講師の吉田さんにお示しするということですね。悩ましいのは、吉田さんご自身が「どういう内容を話したいのか」という点です。講演タイトルは、これまでも毎回違っているようなので、こちらが「こういう話をしてほしい」とお願いした内容と吉田さんが話したい内容がずれてしまう可能性もあります。

私も講演を依頼される側になることがありますが、正直なところ、こちらが考えていたことと違うリクエストをされると少し話しにくくなることがあります。以前、事前にスライドを送ってほしいと言われたことがありました。それ自体は珍しいことではないのですが、送った後に「直してほしい」と言われたことがあり、そのときは正直少し抵抗を感じました。滅多にあることではありませんが、講師の立場としてはそういうこともあります。

ですので、吉田さんが気持ち良く喜んでお話しできるようにしつつ、こちらの希望もある程度伝えるという形がいいと思います。タイトルについては、他の講演タイトルなどを見ると「虎に翼」という言葉を入れられない場合でも「はて？」という言葉を入れるのもよいかもしれません。前向きに考えるきっかけになるような言葉ですし、問いから始まるような印象もあります。

○前川委員

吉田さんにお聞きしたいこととしては、やはり朝ドラを通じて何を描きたかったのかということです。「虎に翼」はもちろんです。他の作品も含めてエンターテインメントの仕事をする中で、吉田さんご自身が社会をどう見ているのか、またエンタメを通じて社会をどう変えていきた

いているのか。そこは参加者も関心のあるところかもしれません。吉田さんに来ていただくわけですから、朝ドラを制作する中での難しさやその中でどのシーンにどのような思いを込めたのか、あるいはどのような思いからキャラクターを作ったのかといった話を聞きたい方が多いのではないのでしょうか。

○前川委員

また、可能であればという前提ですが、南相馬市あるいは福島が抱えている大きな課題として原発事故があります。例えば、吉田さんが原発事故や福島を題材にドラマや作品を作るとしたらどのように扱われるのか。そういったことも聞けるのであれば聞いてみたいと思います。もちろん難しい問題ですので、出来ればという形になりますが、吉田さんがその先にどのような社会を描きたいのか、脚本家として原発事故や地域課題にどのような関心をお持ちなのか、そうしたことを対談や質問の場で少しお聞きできれば良いかもしれません。

もし、吉田さんが南相馬に関心を持ってくださり、南相馬を舞台にしたドラマを書いてくださるようなことがあれば、多くの方にとって大変うれしいことだと思います。これまで、なかなか避けられてきたこと、見なかったことにされてきたことを見ないままにしない。そうした視点を持っていた可能性もあるのではないかと思います。

資料4の中では、個人的には3番あたりが良いと思いました。「物語は、誰のためにあるのか」というようなタイトルは吉田さんも関心を持ってくださるのではないかと思います。タイトル案を2つか3つに絞って、そのなかから選んでもらう形がよいかもしれません。あわせて、原発事故との関係や市が掲げる「100年のまちづくり」などまちづくりのヒントになる内容を講演の中で触れていただければ、南相馬市としても非常に意義があると思います。

○飯塚会長

「100年のまちづくり」とも絡めるのはどうか、ということですね。まちづくりのヒントになるような内容を講演の中に入れていただけると良いのではないかと思います。他の方はタイトル案についていかがでしょうか。

○山田委員

「はて？」という言葉が入るのもいいと思います。例えば、「男だから」「女だから」「普通はこうだから」といった無意識の思い込み、いわゆるアンコンシャス・バイアスがあります。そうした思い込みによって、これまで生きづらさを感じてきた方も多かったのではないのでしょうか。そのような中で、誰もが生きやすい社会をつくっていくためのヒントをお話いただけるとよいのではないかと思います。私は資料の中では「普通なんて、ない」という案がよいと感じました。普通って

○前川委員

おっしゃるとおりだと思います。最終的には、講師である吉田先生の話しやすいものが一番よいと思います。こちらでいくつか案をお示して、その中から選んでいただく形でもよいですし、先生の方でより良い案があれば、それにさせていただいてもよいと思います。あまり形にこだわらなくても良いのではないのでしょうか。他の自治体で使われているタイトルを見ると「エンタメ×社会」のようなものもありますし、「世の中そういうもの」という言葉は「虎に翼」のファンには響くかもしれません。

○前川委員

一方で、ドラマを見ていない人にも興味を持ってもらえるタイトルであることも大切です。「透明化される存在」という言葉は、吉田さんがインタビューなどでよく使っている言葉です。障がいのある方、女性、性的マイノリティなど、これまで十分に描かれてこなかった人たちを「透明化される存在」と表現されています。吉田さんご自身としては、そうした言葉が入ると関心を持ってくださるかもしれませんが、一般の参加者にとって分かりやすいかどうか、また「虎に翼」を見ていない人にも伝わるかどうかは考える必要があると思います。

○飯塚会長

分かりました。あまり細かくしすぎず、事務局で整理していただければと思います。タイトル案に「はて？」を入れてみてはどうかという意見もでたところですので、その点も踏まえて進めていただければと思います。

○事務局(馬場補佐)

では、いただいた意見を事務局で整理しまして、その内容を吉田先生の事務所にお送りし、協議させていただきます。その上で、決定したタイトルやサブタイトルをポスターなどに反映していきたいと思います。

また、開催日までの日程的に、ポスターなどの校正がぎりぎりになってしまいますので、飯塚会長、前川委員、男女共同参画計画推進委員会会長に確認しながら校正を進めさせていただければと思います。

○飯塚会長

分かりました。では、協議事項①と②は以上となります。続きまして、③人権に関する標語及びミニのぼり旗デザイン画審査について事務局より説明をお願いします。

何ですかと問いかけるような内容で、前川先生の対談にもつながるのではないかと思います。

○吉田委員

資料4の1番の案は、シンプルで分かりやすく良いと思いました。ただ、申込者の立場からすると、人権という言葉に少し堅い印象を受けて、自分が人権に詳しくないと行きづらいと感じる方もいるかもしれません。

一方で、自分という言葉が入っているタイトルは良いと思いました。例えば、自分らしく生きるや自分を好きになるためにといった言葉が入っていると、より多くの方に届きやすいのではないかと思います。もちろん、「虎に翼」に関心がある方や人権に関心がある方も来られると思いますが、今まさに生きづらさに悩んでいるような方が来られる場合、タイトルの中に「自分らしくていいんだよ」というメッセージが入っていると、この講演を聞いてみたいと思っただけなのではないでしょうか。その意味では、資料4の5番や7番のような案も良いのではないかと思います。

○飯塚会長

ありがとうございます。自分らしさや自分を肯定するような言葉が入っていると、参加しやすくなるのではないかとのご意見ですね。それでは、タイトル案をいくつか絞って、講師側にこの中ではどうでしょうかとお聞きする形にして、先ほど出たような「はて？」から始まるようなもの、原発事故との関係、100年のまちづくりとの関係などこちらが聞きたい内容も踏まえて、サブタイトルを考えていただけるかどうか事務局で確認するという方向でよろしいでしょうか。

○事務局(馬場補佐)

では、今回候補に挙がった内容を整理し、サブタイトルにこのような視点を入れていただけないかとお願いするなど講師側のご意向を確認したいと思います。

○事務局(中本部長)

一点だけよろしいでしょうか。先ほど前川先生がおっしゃったように講師ご自身が話したいことと地域課題がうまくマッチすることが大事だと思います。事務局でも地域課題の視点も踏まえて色々言葉を考えてきましたが、吉田先生の話したいことと合うのか少し不安があります。

南相馬市では、パートナーシップ制度や様々な取組が進んでいます。一方で、原発事故を契機とした様々な地域課題も残っています。こちらが大切にしたい視点などを選択肢として投げかけてみても、先生の考えと合うかどうかは分かりません。その点が懸念として少しあります。

(2)協議事項

③人権に関する標語及びミニのぼり旗デザイン画審査 【資料5】

④その他

○飯塚会長

では次に、人権に関する標語及びミニのぼり旗デザイン画の審査について、事務局より説明いただき、審査に入りたいと思います。

≪ 事務局より説明 ≫

－ 審 査 －

【審査結果】

小学生の部【標語】

最優秀賞 石神第二小学校 6年 佐藤 蒼矢

「ちがっていい それがみんなの いいところ」

優秀賞 鹿島小学校 6年 森 志人

「いじめがない さべつがない町 つくろうよ」

小学生の部【のぼり旗デザイン画】

最優秀賞 大甕小学校 5年 田坂 佳那恵

優秀賞 鹿島小学校 5年 滝口 まは奈

佳作 原町第一小学校 6年 黒川 唯愛

佳作 鹿島小学校 6年 泉川 明澄

中学生の部【標語】

最優秀賞 小高中学校 1年 半谷 縁

「普通とは 人の数だけ 在るものだ」

優秀賞 原町第一中学校 3年 伊佐見 瑠奈

「気づいてよ 声にならない SOS」

中学生の部【のぼり旗デザイン画】

最優秀賞 原町第一中学校 3年 舟山 紅美

優秀賞 小高中学校 1年 高田 咲実

佳作 原町第一中学校 1年 門馬 すず

佳作 原町第二中学校 2年 土屋 結仁

○飯塚会長

その他なければ、以上で議事についてすべて終了いたします。委員の皆様には、慎重審議ありがとうございました。それでは、事務局へお返しします。

○事務局(相良次長)

それでは、以上をもちまして本日の日程はすべて終了となります。委員の皆様には、長時間にわたり慎重なる審議をいただきまして誠にありがとうございました。今後の会議の運営にあたりまして、委員のみなさまには大変お忙しい中とは存しますが、引き続き、ご理解とご協力をお願い申し上げまして、本日の第2回の推進会議を閉会とさせていただきます。

本日は、ありがとうございました。

令和 8 年 6 月 17 日

会議録署名人

畑 山 慶 子

会議録署名人

菅 原 道 義